

プラスチックストロー  
使用量削減プロジェクト  
実施報告書

2019年10月

千葉大学環境 ISO 学生委員会

# 目次

## 第1章 プロジェクト概要.....3

1. 背景・目的
2. 経緯
3. 方法
4. 実施主体
5. 成果及び課題とネクストアクション

## 第2章 実証実験の概要.....6

1. 事前アンケート
2. 宣伝・広報
3. 実証実験
4. 事後アンケート
5. 考察と結論

## 第3章 報道歴.....13

## 第4章 成果・課題・今後の展開.....14

1. 実証実験の成果
2. 実証実験の課題
3. 課題に対する今後の対応

## 参考資料.....16

# 第1章 プロジェクト概要

千葉大学環境 ISO 学生委員会では持続可能な開発目標（SDGs）の推進と世界的な海洋汚染防止への取り組みを背景に、まずは学内からプラスチックごみを減らすとともに、学生・教職員の海洋汚染への意識の啓発を図る目的で、「プラスチックストローの配布を一時停止」「紙ストローの有料化（1本5円）」「販売データおよびアンケートによる検証」の実証実験を行った。

## 1. 背景・目的

近年、プラスチックごみが川や海を流れ、「マイクロプラスチック」と呼ばれる細かな塵となり、海洋汚染に大きな影響を及ぼしている。最近では、絶滅が危惧されるウミガメの鼻からストローを取り除く動画が拡散されたことから大きな話題となった。日本でも早ければ2020年4月からレジ袋の有料化するという方針が示されたほか、先日のG20大阪サミットでも海洋プラスチックごみ（廃プラ）を2050年までにゼロにする目標を導入することで一致するなど、国際的にも関心が高まっている。

千葉大学生協では500mLの紙パック購入者に、プラスチックストローを無料で配布しており、年間30,000本を使用している。そのような現状を受け止め、環境問題の深刻性を伝えるために、千葉大学で初めてプラスチックストローに関するプロジェクトを始動した。



←ウミガメの鼻にプラスチックストローが刺さっている様子  
(<https://www.fnn.jp/posts/00335410HDK>)



←スターバックスやマクドナルドでは今後プラスチックストローの提供を取りやめることを公言  
(<https://diamond.jp/articles/-/174706>)

## 2. 経緯

2018年12月

- 環境 ISO 学生委員会の学生（浅倉裕登）がプラスチックごみの減量化推進のために本企画を発案
- 千葉大学生生活協同組合（以下生協）と学生委員会で第1回調整会議を実施
  - ・企画の趣旨を説明し、プラスチックストローの配布量データ（参考資料4）を入手
  - ・現在は飲料メーカーからプラスチックストローを無料で提供されていることを確認

2019年2月

- プラスチックストロー使用量削減プロジェクトの企画書を環境 ISO 企画委員会に提出し、環境に優しいストロー（紙 or 生分解性）への代替またはストローの有料化を提案。

※この後、毎月企画委員会に企画書を提出し、実証実験の内容を順次決定していった。

2019年3月

- 実証実験の時期（7月の1週間）と、ストローを有料化することを決定
- 紙・生分解性ストロー取扱業者の調査

2019年4月

- 紙ストローを有料化することと、事前アンケートの内容（参考資料1）を決定
- 生協と調整会議を行い、紙ストローは生協の取引先業者から購入することになった。  
購入費は生協が負担してくださることになった（1本5円×最少ロット500本=2500円）。  
（実験期間中の紙ストローの売上は生協に入る）

2019年5月

- 実証実験の日程（7月9日～12日）と、使用するポスターデザインを決定
- 実証実験前のデータ収集として、千葉大学関係者を対象とした事前アンケートを実施（7月まで）

2019年6月

- 実証実験の最終的な流れの確認と、事後アンケート（参考資料2）の内容を決定

2019年7月初め（実証実験前）

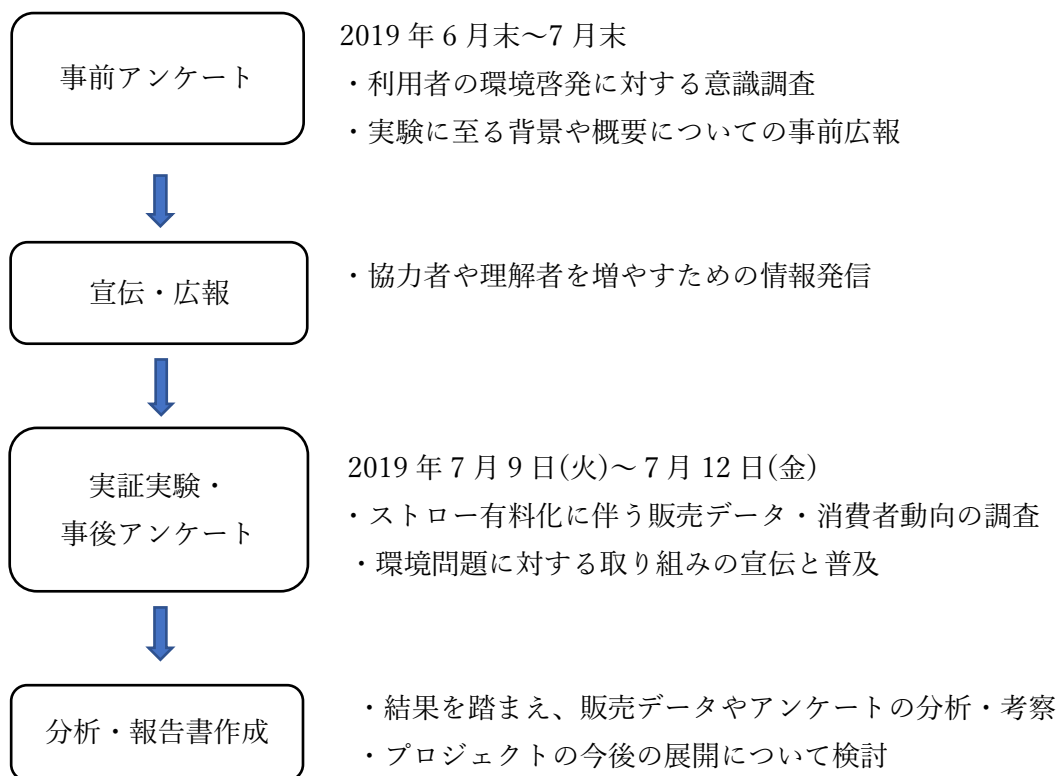
- 実証実験についてプレスリリースや、委員会のイベントや SNS で広報開始

2019年7月9日～12日

- 実証実験の実施
- 購入者を対象とした事後アンケートを実施

### 3. 方法

本実証実験は下記の4つのステップで行った。



### 4. 実施主体

【企画立案】 千葉大学環境 ISO 学生委員会 浅倉裕登（法政経学部3年）

【企画協力】 同委員会 渡辺 杏（工学部2年）・ポップデザイン

【呼びかけ協力】 同委員会 構内事業者班

【運営協力】 千葉大学生生活協同組合

### 5. 成果及び課題とネクストアクション

プラスチックの使用量を削減できることが証明されたものの、消費者動向から伺える課題が生じた。実験のデータや実験に対する意見を集計し、課題を解決するための方策を検討する。その後、本格的な導入を目指すために活動を継続していく。

## 第2章 実証実験の概要

7月9日（火）～12日（金）の4日間、千葉大学生協の2店舗でストローを有料化する実証実験を行った。実験ではプラスチックストローの無料配布を廃止し、代替となる紙ストローを1本5円で販売した。実験データとして、飲料やストロー販売数の確認と、消費者へのアンケート調査も行った。

### 1. 事前アンケート

【調査目的】 利用者の環境啓発に対する意識調査  
実験に至る背景や概要についての事前広報

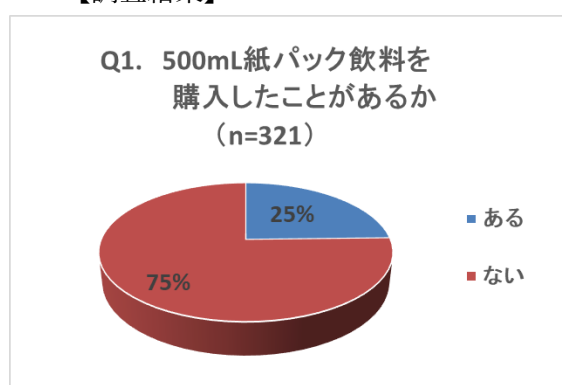
【調査期間】 2019年5月～7月上旬

【調査方法】 千葉大学環境 ISO 学生委員会公式 Twitter および「環境マネジメントシステム実習 I」の授業内で広報し、web アンケートに回答をしてもらう

【総回答数】 321名

【質問内容】 ・千葉大生協での500ml紙パック飲料の購入経験とストロー受け取り経験  
・プラスチックストロー廃止され紙ストローが有料になった場合の行動  
※設問の詳細は参考資料1を参照

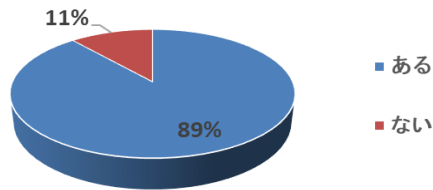
#### 【調査結果】



#### Q1.

大学内で500mLの紙パック飲料を購入する利用者は少ない。  
⇒授業で告知してアンケートに回答した学生は1年生であるため、5月時点ではまだ購入経験がないだけという可能性もある。今後他大学でも導入されるようなことがあれば、実験の成果による影響も大きくなると予想できる。

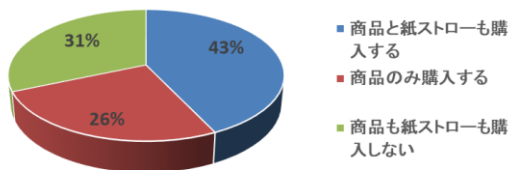
Q2. 500mL紙パックを購入した際、ストローをもらったことがあるか (n=80)



Q2.

実験前の段階で、500mL の紙パック飲料を購入した利用者のうち、ほとんど (9 割) が無料のプラスチックストローを受け取っていた。

Q3. ストローの無料配布を止め、1本5円で紙ストローを販売したらどうするか (n=70)



Q3.

商品を購入する人の中で、有料の紙ストローを購入するであろう利用者は5割ほどである。(58人中30人)

⇒実際どのくらいの利用者が紙ストローを購入したのかを検証する。

(今回は関係ないが今後はストローの発注数に影響する)

Q3.

ストロー有料化で、3分の1 (70人中22人) の利用者が商品を購入しなくなる。

⇒商品の売り上げも3分の1だけ減少することが見込まれる。

他の飲料の売り上げと比較して、全体的な売り上げにどう影響が及ぶかも検証する。

## 2. 宣伝・広報

【目的】 実証実験への理解と協力を求める

プラスチック汚染の問題に対する意識啓発 (メディア誘致含む)

事前アンケートへの回答募集

【手法・内容】

1) 千葉大学環境 ISO 学生委員会公式 Twitter (@chibaiso)

- ・事前アンケートの配信 (5月1日)
- ・実証実験の事前告知 (7月1日)
- ・実証実験の開始告知 (7月9日)
- ・実証実験の取材記事紹介 (7月10日)

2) 千葉大学広報公式 Twitter (@Chiba\_Univ\_PR)

- ・実証実験の事前告知 (7月3日)
- ・実証実験の取材記事紹介 (7月10日)

3) プレスリリース (PR TIMES、千葉大学 web サイト、千葉県政記者クラブへの配布)

- ・実証実験の事前告知 (7月1日)
  - ※内容 (prtimes.jp/main/html/rd/p/000000354.000015177.html)
- ・取材誘致のためのリリース配布 (7月1日)

4) ポップ (ポスター) 掲示

- ・ライフセンター入り口
- ・ライフセンター内の紙パック飲料陳列棚、各レジ前 (7月1日~12日)
- ・省エネ省資源イベント (7月4日・5日) ※生協前にて学生委員会が主催するイベント

5) 呼びかけ

- ・実証実験当日に学生委員会が店舗内で呼びかけ (7月2日昼休み)

CHIBA UNIVERSITY

取材のご案内  
2019年7月1日  
国立大学法人千葉大学

**千葉大学で試験的にプラスチックストローを廃止  
代替として紙ストローを有料で販売します**

千葉大学環境ISO学生委員会は、近年海洋汚染の原因として注目されているプラスチックごみを減らすために、千葉大学生協の協力を得て、7月9日(火)から7月12日(金)まで西千葉キャンパス内の一部でプラスチックストローの無料配布を中止し、紙ストローを有料で販売する実証実験を行います。

■プラスチックごみの海洋汚染について  
プラスチックごみが川や海を流れ、「マイクロプラスチック」と呼ばれる細かな塵となり、海洋汚染に大きな影響を及ぼしています。例えば、絶滅が危惧されるウミガメの鼻からストローを取り除く動画が拡散されたことから大きな話題となりました。日本でもレジ袋の有料化の方針が示されるなど関心が高まっています。

■「プラスチックストロー廃止」実証実験の概要  
千葉大学生協では、500mlの紙パックの購入者にプラスチックストローを配布しており、年間約30,000本を使用しています。環境ISO学生委員会では、持続可能な開発目標(SDGs)の推進と世界的な海洋汚染防止への取り組みを背景に、まずは学内からプラスチックごみを減らすとともに、学生・教職員への海洋汚染への意識の啓発を図る目的で、下記の実証実験を行うことにしました。

＜実証実験の概要＞  
期間：2019年7月9日(火)～7月12日(金)  
場所：千葉大学生協(ライフセンター、工学部店舗)  
内容：プラスチックストローの配布を中止し、そのかわりに紙ストローを1本5円で販売する。

※500mlの紙パック飲料を購入された方にアンケート調査を行い、今後の実用化に向けて検討していきます。

ご存知ですか？  
プラスチックゴミが  
海洋生物に  
影響を与えていること。

告知ポスター

2003年千葉大学においてISO14001認証取得への動きが始まるとともに発足し、環境マネジメントシステムの構築・運用に貢献。現在では、学内の環境維持、目的達成実行計画の策定作成、内部監査、外部審査対応、環境報告書作成、省エネ省資源・緑化・地球化等の活動、地域との連携、学内への啓発活動などを担当。

本件に関するお問い合わせ・取材のお申込み  
千葉大学環境ISO事務局 043-290-3572

千葉県政記者クラブ配布リリース

試験導入期間 7/9~7/12  
**ストロー有料化1本5円**  
※紙ストローを使用  
(ライフセンター・工学部生協にて  
500ml 紙パック飲料を購入時)

ご存知ですか？  
プラスチックゴミが  
海洋生物に  
影響を与えていること。

環境 ISO 学生委員会

ポップ (ポスター)





店舗入り口に貼られたポスター



実験期間中の呼びかけ活動

### 3. 実証実験

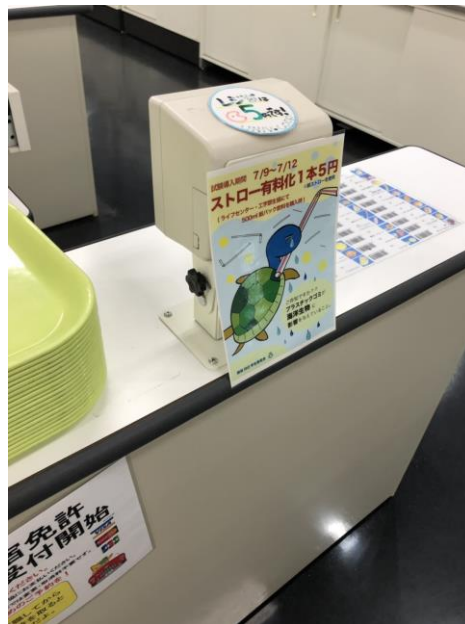
【期間】 2019年7月9日（火）～12日（金）

【場所】 千葉大学生協（ライフセンター、工学部店舗）

【内容】 500mLの紙パック飲料を購入した人へのプラスチックストローの配布を中止し、かわりに紙ストローを1本5円で販売する。500mLの紙パック飲料の購入者にアンケート調査を行う



商品棚における告知ポスター



レジにおける広報

#### 【結果と考察】

##### ○飲料販売数結果

	合計 / 7/2-5合計数	合計 / 7/9-12合計数	合計 / 7/16-19合計数
200ml紙パック	1,107	1,060	986
500ml紙パック	267	<b>251</b>	380
カップ飲料	292	258	290
缶飲料	115	40	20
ボトル缶	155	151	129
小型ペット	66	121	79
500mlペット	3,879	3,615	4,108
合計	5,881	5,496	5,992

500mL 紙パック飲料は実験期間中に 251 本を販売した。

そのうち、紙ストローを購入した人は 129 人であった。

⇒48.6%の利用者がストローの購入を控えたため、ストローの使用量は半減した。

#### ○飲料販売数比較

	合計 / 7/2-5合計数	合計 / 7/9-12合計数	合計 / 7/16-19合計数
500ml紙パック	106%	100%	151%
500mlペット	107%	100%	114%
合計	107%	100%	109%

#### ○実験期間前後の気温

	平均気温 / 7/2-5	平均気温 / 7/9-12	平均気温 / 7/16-19
最高気温	25.5℃	22.5℃	26.25℃
最低気温	20℃	17.25℃	20.75℃

500mL 紙パック飲料の販売数は、実験を行った週はその前後の週より少なかったが、500mL ペットボトルも同様の変化を見せており、全体的にも実験を行った週の飲料商品の販売数は落ち込んでいる。これは、実験を行った週の平均気温が前後の週と比べて低かったことが影響していると思われる。

しかし、紙パック飲料の購入にはストロー有料化による抑止力が働いている可能性も無視できない。特に、実験期間後の販売合計数が 151%と顕著な上昇があり、ペットボトルや飲料全体と比較しても高いため、実験による需要低下の影響が考えられる。

また、紙ストローを千葉大学キャンパスで導入することは初めてであるため、興味本位で紙ストローを購入する人も少数ながらいた。その場合、長期で実験を通して行った際、そのような趣旨で紙ストローを購入する人が減少すると、さらにストローの購入率は減少すると予想される。

#### 4. 事後アンケート

【調査目的】 今後の導入に向けての市場調査

【調査期間】 2019年7月9日(火)～7月12日(金)

【調査方法】 500mL 紙パック飲料購入者にアンケートサイトの QR コードが書かれたビラを直接手渡しした

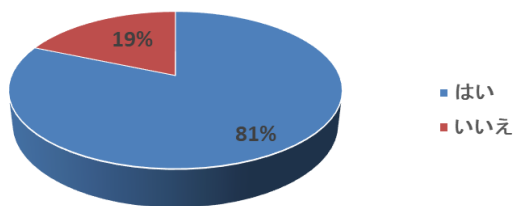
【総回答数】 43 名



アンケート付きビラと紙ストロー

【結果】

Q.1 あなた500mL紙パックを購入した際、紙ストローを購入したか？ (n=43)

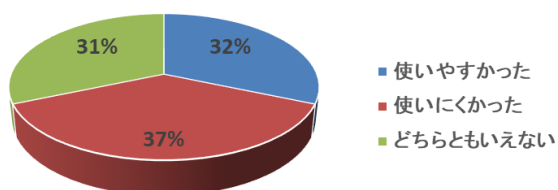


Q.1

回答者の8割は商品を購入の際に紙ストローも購入している。

⇒ストローは有料であっても必需品と考える人が多い。一方、アンケートの配布が紙ストロー購入者に偏ってしまった傾向があるため、次回以降は改善する必要がある。

Q.2 あなたは紙ストローを利用した際どう思ったか？ (n=35)

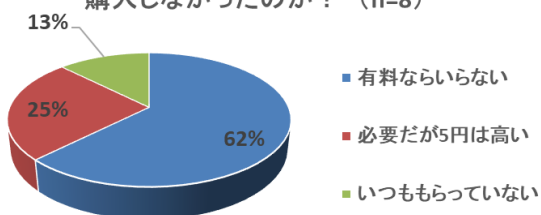


Q.2

今回使用した紙ストローは使いやすさの面では良し悪しがあった。

⇒使用する紙ストローを変えるか、他に環境の負荷が低いストローを導入することで改善を検討する。

Q.3 あなたは500mL紙パックを購入した際、なぜ紙ストローを購入しなかったのか？ (n=8)

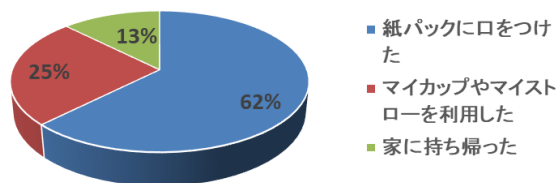


Q.3

商品を購入する人の中には、紙ストローを購入しない人もいた。そのうちの多くは1本5円のストローは高いと感じていた。

⇒有料化はストローの配布数を抑えるのに有効な手段であると考えられるが、価格設定で利用者の不満を高めないように配慮する必要がある。

Q.4 あなたはどのようにして500mL紙パックを飲んだか？ (n=8)

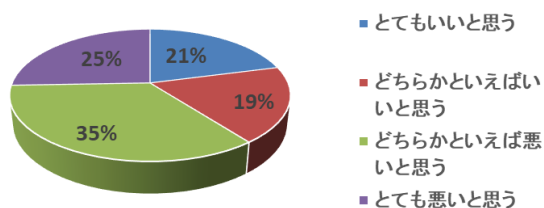


Q.4

ストローを購入するのであれば、口をつけて飲むこともやむを得ないと判断する利用者の割合が高い。

⇒利便性に改善の余地を求める必要性があり、その際、持ち運べるカップやストローの導入等を検討したい。

Q.5 今後プラスチックストローの代わりに、紙ストローを有料で導入することについてどう思うか？ (n=43)



Q.5

今後の導入については反対意見が多い。

そのうち過半数が紙ストローの利便性に反対する人で、次に、有料化に反対する意見が多かった。

⇒課題への対処をできるだけ行い、ストロー有料化の賛成者が増加するように変化を見出したい。



# 第3章 報道歴

社会的にもインパクトを与えるため、2019年7月1日に報道関係者に対してプレスリリースを行った。その結果、千葉日報が7月9日、NHK千葉放送局が7月10日に取材に訪れた。

報道日付	報道機関	内容
2019年7月10日	千葉日報（朝刊2面）	プラごみ減へ紙ストロー 1本5円 千葉大で販売実験
2019年7月11日	NHK 総合「首都圏ネットワーク」 首都圏BOX コーナー2分30秒特集	ストローは必要？学生が実証実験

## プラごみ減へ紙ストロー

### 1本5円 千葉大で販売実験

海洋汚染の原因として問題視されるプラスチックごみの削減に向け、千葉大学（千葉市稲毛区）の学生団体「環境ISO学生委員会」は9日、大学生協同組合（生協）の売店で

ISO 学生委 浅倉さん 立案「環境配慮を」

実証実験を企画・立案したのは、環境問題に取り組む同委員会に所属する法政経学部3年の浅倉裕登さん（21）同区。

海洋汚染の問題をニュースで知り、大学近くのファミリーレストランなどがプラスチックストローを廃止したのを見て行動に移した。委員会の仲間や指導教員の助言を受け、同大生協と交渉するなど半年間をかけてほぼ一人で準備した。同委員会などによると、同大生協の5つの売店では、紙パック飲料（500ml）購入者にプラスチックストローを年約3万本、配布している。実証実験は同大西千葉キャンパスの2つの売店で行い、紙パック購入者に紙ストローを販売する。浅倉さんは、今回の取り組みがプラスチックごみの削減だけでなく、学生の意識啓発につながることを期待。活動を知ってもらい、環境に配慮するきっかけになれば、アンケート結果を分析して2020年度の導入を検討したい」と説明した。

同委員会は2005年にも大学生協のレジ袋有料化（1枚5円）を試験的にを行い、07年度までに全キャンパスで導入された。18年度のレジ袋購入率は利用者全

プラスチックストローの無料配布を中止し、紙ストローを1本5円で販売する実証実験を始めた。12日まで行い、来年度の本格導入を検討する。

紙パック飲料の購入者に紙ストローを販売し、チラシを配る実証実験

紙パック飲料の購入者に紙ストローを販売する実証実験を立案した浅倉さん＝9日、千葉市稲毛区の千葉大



←NHK の取材の様子  
報道の詳細は参考資料3 参照

## 第4章 成果・課題・今後の展開

今回の実証実験を通して、プラスチックストローの廃止と紙ストローの有料化は、ストローの使用量を減少させる効果があることがわかった。一方で多くの課題も発見し、今後このような活動を普及させるためには改善すべき点や、その改善案も検討していく必要がある。

### 1. 実証実験の成果

- ① プラスチックストローの使用量を削減することができた（期間中 251 本）
- ② 紙ストローの有料化はストロー自体の使用量も半減させる効果がある  
（期間中 251 人中、ストロー購入者は 48% の 129 人。52% の 122 人はストロー使用せず）
- ③ 学内関係者に対してプラスチックごみ問題に対する意識啓発ができた
- ④ 新聞やテレビで報道されたことによって、社会に対しても意識啓発活動ができた

### 2. 実証実験の課題

- ① プラスチックごみによる海洋汚染の深刻性の認知度向上に余地があると感じた。
- ② 今回の実験で使用した紙ストローは歯ざわり等の利便性に欠けていた。利用者によっては注ぎ口から直接、飲料を飲む人も見られ、不満が高いように見受けられた。
- ③ 500mL 紙パック飲料の売り上げ数や店舗利益に影響を及ぼす懸念がある。
- ④ 短期間の実験であったため、集計できたデータが少なかった。

### 3. 課題に対する今後の対応

- ① プラスチックごみ問題に対する継続的な啓発活動を行っていく。
- ② 使用する紙ストローを変えるか、他に環境の負荷が低いストローを導入することを検討する。  
また、ストロー以外の方法、例えば、持ち運べるコップなどの導入を検討する。
- ③ ストローの設定価格を見直すなど必要に応じて対策を講じる。
- ④ 長期的な実験（半年～1年）へ移行し、より多くのデータ集計をする。場合によっては、学生委員会の構内事業者班の1つのプロジェクトとして確立し、今後も他大学や社会に反映させるために活動をしていく。

## おわりに

このプロジェクトを立案するに至ったのは、環境啓発活動へ自分自身の考えで働きかけたいと考えたからである。立案当時、鼻にストローが刺さったウミガメを救助した動画が SNS で拡散されていた。この問題について調査し、他人ごとではないと感じた私は、プロジェクトを始動しようと決意した。このような実験をしている大学の前例がほとんどなく、どのような過程を経て検証すればよいかは手探りの状態であった。しかし、結果的にメディアに取り上げられることで、自分の環境意識啓発活動に自信を持つことができた。今後多くの課題もあり、解決するには非常に困難な問題ばかりではあるが、国内でプラスチック問題を問題意識とすることを当たり前の習慣になればと思う。

環境 ISO 学生委員会 法政経学部 3年 浅倉裕登

# 参考資料

## 1. 事前アンケート

【千葉大生対象】 プラスチックストロー使用量削減プロジェクト 事前アンケート  
千葉大学環境 ISO 学生委員会

近年、飲食チェーンではプラスチックストローを廃止している店が増えています。プラスチックストローは分解されずリサイクルもされにくく、そのまま海に流れ出てしまい、海を汚してしまう原因の一つになっているからです。そこでストローに関する調査のご協力よろしくお願いします。

① あなたは大学生協で 500m L の紙パックの飲料を買ったことがありますか。

A. ある B. ない

② ①であると回答した人に質問です。

あなたは 500mL の紙パックを買った際に、ストローをもらったことがありますか。

A. ある B. ない

③ ②であると回答した人に質問です。

今まで生協でもらっていたプラスチックストローが廃止され、新しく 1 本 5 円で紙ストローを導入する  
とします。あなたは以下のどの行動をとりますか。

A. 商品と紙ストローを購入する。

B. 紙ストローを買わずに商品のみを購入する。

C. 商品も紙ストローも購入しない。

D. その他 ( )



## 2. 事後アンケート

【千葉大生対象】 プラスチックストロー使用量削減プロジェクト 事後アンケート  
千葉大学環境 ISO 学生委員会

このアンケートは 2019 年 7 月 9 日～12 日に大学生協で実施されたストロー有料化に関するものです。期間内に紙パック飲料を購入した方を対象としています。2020 年度の導入に向けて、皆様のご意見を参考にさせていただきます。ご協力よろしくお願いします。

Q1. あなたは 500mL の紙パック飲料を購入した際に紙ストローを購入しましたか。

- A. はい →回答後 Q.2 へ移動
- B. いいえ →回答後 Q.3 へ移動

Q2. ①ではいと答えた方に質問です。紙ストローを利用してみての感想を聞かせてください。

記述式 →回答後、Q.5 へ移動

Q3. ①でいいえと答えた方に質問です。あなたは 500mL の紙パック飲料を購入した際になぜ紙ストローを購入しなかったのですか。

- A.高いと思ったから。
- B.環境に悪いと思ったから。
- C.いつももらっていないから。
- D.その他

→回答後 Q.4 へ移動

Q4. ①でいいえと答えた方に質問です。あなたはどのようにして紙パック飲料を飲みましたか。

- A. そのまま飲んだ
- B. マイカップやマイストローを利用して飲んだ
- C. その他

→回答後 Q.5 へ移動

Q5. 今後紙ストローを大学生協で導入することについてどう思いますか。

- A. とてもいいと思う。
- B. どちらかといえばいいと思う。
- C. どちらかといえば悪いと思う。
- D. とても悪いと思う。

### 3. NHK 報道内容

2019年7月11日 首都圏ネットワーク「首都圏BOX」2分30秒



今日は千葉からこちらの話題です。

お昼時の千葉大学です。



学生たちが使っているストローにご注目。実は紙でできたストローなんです。(男子学生)「全然ふにやふにやなくてすごいな」(女子学生)「良いと思います」



プラスチックのごみを減らそうと紙のストローを使う実証実験が千葉大学ではじまりました。(大岡さん)「こちらが今回の実験で使用している紙のストローです。さっそく使ってみましょう。…うん。スムーズに飲むことができます」。この実験は千葉大学の学生たち自身がやっているんです。



〈浅倉〉「500ml紙パックに付属しているプラスチックストローの配布をとりやめています。学内の生活協同組合の店舗でこれまで紙パックの飲み物を買った人に行われてきたプラスチックストローの無料配布をとりやめ、そのかわりが紙のストローなんですけども…」



(店員)「ストロー5円かかりますがいかがいたしますか?」そうなんです。1本5円なんです。(男子学生)「有料になることによって完全にストローを使うって少なくなるのかなと。環境にも良かったのでこれはこれでいいかと思う」



昨日までの2日間で、紙パックの飲み物を購入したのは130人のうち、紙ストローを購入した人は65人とどまりました。有料化したことでごみ自体の削減にもつながったということです。(浅倉)「海洋汚染に配慮できるということもそうだし、学生一人ひとりの環境意識に対するモチベーションも変えることができればなと」学生さん自ら取り組んでいるということが素晴らしいですね。この実験は明日まで行われています。

7月11日 15時54分 NHK NEWS WEB ネット上でも動画と追加情報が配信された。

NHK NEWS WEB  
千葉 NEWS WEB  
ストローは必要？学生が実証実験  
07月11日 15時54分

環境汚染が問題となるなか、千葉大学の学生たちが売店で行われてきたプラスチック製ストローの無料配布を取りやめ、紙製のストローを、しかも有料で購入してもらおうという実証実験を行いました。

実証実験は、海などの汚染の原因として指摘されているプラスチックのゴミを減らそうと、千葉大学で環境問題に取り組んでいる「環境ISO学生委員会」の学生たちが行いました。

これまで学内の生活協同組合の店舗では、紙パックの飲み物を買った人に対してプラスチック製のストローが無料で渡されていましたが、今回は代わりに紙のストローを、しかも1本5円で購入してもらいます。

10日の実験で紙のストローを購入した女子学生は「初めて使いましたが、違和感はありませんでした。安いとは言えないけれど、環境汚染を防げるのなら負担してもいいと思います」と話していました。また男子学生は「試しに買ってみましたが、本格的に導入されたらストロー自体を使わないという選択もあると思います」と話していました。

千葉大学にある合わせて5つの店舗では、1年間におよそ3万本のプラスチック製ストローを配布しているということで、実証実験の結果を確かめたうえで本格的に紙ストローの販売を導入するか、検討することにしています。

千葉大学生活協同組合の有馬光星さんは「学生が自主的に提案してくれて、とてもうれしい。よりよい大学の在り方を考えていきたい」と話していました。

「環境ISO学生委員会」のメンバーで実証実験を立案した法政経学部3年の浅倉裕登さんは、「身近なストローについて考えることで環境汚染をどうしたら防げるのか、意識してもらえれば」と話していました。

実験は12日まで行われます。

環境汚染が問題となるなか、千葉大学の学生たちが売店で行われてきたプラスチック製ストローの無料配布を取りやめ、紙製のストローを、しかも有料で購入してもらおうという実証実験を行いました。

実証実験は、海などの汚染の原因として指摘されているプラスチックのゴミを減らそうと、千葉大学で環境問題に取り組んでいる「環境ISO学生委員会」の学生たちが行いました。

これまで学内の生活協同組合の店舗では、紙パックの飲み物を買った人に対してプラスチック製のストローが無料で渡されていましたが、今回は代わりに紙のストローを、しかも1本5円で購入してもらいます。

10日の実験で紙のストローを購入した女子学生は「初めて使いましたが、違和感はありませんでした。安いとは言えないけれど、環境汚染を防げるのなら負担してもいいと思います」と話していました。また男子学生は「試しに買ってみましたが、本格的に導入されたらストロー自体を使わないという選択もあると思います」と話していました。

学生委員会によりますと、10日までの2日間に紙パックの飲み物を買った130人のうち、紙のストローを購入したのは65人とどまり、ゴミ自体の削減にもつながったということです。

千葉大学にある合わせて5つの店舗では、1年間におよそ3万本のプラスチック製ストローを配布しているということで、実証実験の結果を確かめたうえで本格的に紙ストローの販売を導入するか、検討することにしています。

千葉大学生活協同組合の有馬光星さんは「学生が自主的に提案してくれて、とてもうれしい。よりよい大学の在り方を考えていきたい」と話していました。

「環境ISO学生委員会」のメンバーで実証実験を立案した法政経学部3年の浅倉裕登さんは、「身近なストローについて考えることで環境汚染をどうしたら防げるのか、意識してもらえれば」と話していました。

実験は12日まで行われます。

4. 千葉大学生協における 2017 年度ストロー使用数量表

2017年 4月	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)		2017年 10月	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)
ライフセンター	2	0		ライフセンター	3	0
工学部	6	0		工学部	6	0
園芸SB	2	0		園芸SB	0	2
ミニショップ	4	0		ミニショップ	0	0
亥鼻SB	0	0		亥鼻SB	0	0
2017年 5月	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)		2017年 11月	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)
ライフセンター	4	0		ライフセンター	3	0
工学部	0	0		工学部	0	0
園芸SB	0	0		園芸SB	0	0
ミニショップ	0	0		ミニショップ	0	0
亥鼻SB	1	0		亥鼻SB	0	0
2017年 6月	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)		2017年 12月	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)
ライフセンター	4	0		ライフセンター	3	0
工学部	0	0		工学部	6	0
園芸SB	0	0		園芸SB	0	0
ミニショップ	0	0		ミニショップ	0	0
亥鼻SB	1	0		亥鼻SB	0	0
2017年 7月	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)		2018年 1月	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)
ライフセンター	6	0		ライフセンター	0	0
工学部	0	0		工学部	0	0
園芸SB	0	0		園芸SB	0	0
ミニショップ	4	0		ミニショップ	0	0
亥鼻SB	0	0		亥鼻SB	0	0
2017年 8月	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)		2018年 2月	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)
ライフセンター	2	0		ライフセンター	2	0
工学部	0	0		工学部	0	0
園芸SB	0	0		園芸SB	0	1
ミニショップ	0	0		ミニショップ	0	0
亥鼻SB	0	0		亥鼻SB	0	0
2017年 9月	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)		年間合計(2017)	ストロー (アルプス)	太ストロー (サクラ)
ライフセンター	0	0		ライフセンター	29	0
工学部	0	0		工学部	18	0
園芸SB	0	0		園芸SB	2	3
ミニショップ	0	0		ミニショップ	8	0
亥鼻SB	1	0		亥鼻SB	3	0
				全店合計(ケース)	60	3
				全店合計本数(500本)	30,000	1,500